

令和4年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.		17-	5
事業名	公民館諸事業経費	会計 一般	款 10 項 5 目 3
政策	6 人生を豊かにするために	課名	社会教育課
施策	6-1 生涯学習の推進	係名	生涯学習係

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町民（利用者）	目的（対象がどのような状態になっているか）	地域の学習拠点、家庭教育支援拠点として利用者のニーズに応じた運用を検討するなど施設の有効利用、利便性を図る。
事業内容	地域の学習拠点、家庭教育支援拠点として利用者のニーズに応じた運用を検討するなど、施設の有効利用・利便性を図る。 公民館での作品展示やサークル活動の充実、また、生涯学習の企画運営に参画するコーディネーター（指導者含む）を募集し、人材の発掘と育成を図るとともに、若者から高齢者までを対象とした学習機会の拡充に努める。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）	
1	公民館・文化会館利用者数	34,580	42,247		人		50,000	
2	生涯学習関連の講座・教室の参加者数	249	290		人		280	
3								
4								
5								
			令和3年度（決算）		令和4年度（決算）		令和5年度（予算）	
全体事業費（千円）A+B			6,837		7,413		6,083	
財源内訳	直接事業費A		3,591		3,705		3,695	
	うち一般財源		3,591		3,705		3,695	
人件費（千円）B			3,246		3,708		2,388	
内訳	一般職員（人・千円）		0.41	2706	0.48	3168	0.34	2244
	臨時職員（人・千円）		0.30	540	0.30	540	0.08	144

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	Ⅲ 要改善（少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R4年度の改善計画	公民館施設の利用向上につながる生涯学習の取り組みなど調査研究を行うと同時に、公民館講座修了者に対しても文化協会と協同し施設利用を図る。	③取組の課題	稼働率の低い曜日や時間帯の利用促進
②R4年度に実施した取り組み	公民館講座受講者はじめ、こどもカレッジ参加者など町事業開催による公民館施設利用の案内を行うほか、安心して快適に施設利用をしていただくため、空気清浄機を整備した。	④今後の改善計画	町事業による施設利用者への利用案内をはじめ、広報誌やHPなどPRに努める。